第＊学年外国語（英語）科　学習指導案

フォントやページ設定はそのまま使用してください。

＊＊立＊＊＊＊学校

高校は科目名を記述

指導者　＊＊　＊＊

**１　「＊＊こと［領域名］」の目標**

|  |
| --- |
| ア　＊＊＊ができるようにする。  ※学習指導要領解説より抜粋して記述する（「ア」「イ」「ウ」も明記） |

※領域名：「聞くこと」「読むこと」「話すこと［やり取り］」「話すこと［発表］」「書くこと」から１つ

（授業ではすべての領域を扱うが、この単元で特に重視する領域を１つ取りあげる）

評価規準の作成ついては「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）p.44以降を参照。事例の領域名に注意。

２　単元名 ＊＊＊　＊＊＊＊（教科書名　出版社名）

３　単元を通した「＊＊こと」における目標及び評価規準

　(1) 目標

＊＊＊［育成を目指す三つの資質・能力の内容をまとめて１文で記述］

　(2) 評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・＊＊＊＊を理解している。  ・＊＊について＊＊技能を身に付けている。 | ＊＊＊するために、＊＊＊している。 | ＊＊＊するために、＊＊＊しようとしている。  ［思判表と同じ内容になる］ |

知識・技能はそれぞれについて分けて記述する。

４　単元について

　(1) 教材観

＊＊＊［単元（題材）のねらい等について、指導書等を参考にしながら記述］

　(2) 生徒観

＊＊＊［生徒の実態（できるだけ数値化）、課題等について記述］

　(3) 指導観

＊＊＊［生徒の実態や課題を受け、単元のねらいに迫るための指導上の手立てを記述］

５　単元の指導計画（＊時間扱い）　（●：学習改善につなげる評価場面、○：評定に用いる評価場面）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容・活動  （■：ねらい、丸数字：言語活動、※：評価方法） | 知 | 思 | 態 | 備考 |
| １ | ■＊＊＊　［本時以外は簡潔に］  ①＊＊＊  ②＊＊＊  ※＊＊＊ |  |  |  | ・単元を通した留意点等を記述する  ・時間ごとに区切ってもよい  ・フォントサイズを小さくしてもよい |
| ２ | ■＊＊＊  ①＊＊＊  ②＊＊＊  ※＊＊＊ | ● |  |  |
| ３ |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |
| ５  本時 | ［本時を太枠（3pt）で囲み、詳述する］  ■＊＊＊  ①＊＊＊  ②＊＊＊  《本時の流れ》  ⑴ ＊＊＊  ⑵ ＊＊＊  ⑶ ＊＊＊  ※＊＊＊  ［思判表と態度は一体的に評価する］ |  | ● | ● |  |
| ６ |  |  |  |  |
| ７ | ［最終時の評価→］ |  | ● | ● |
| 後日 | ペーパーテスト、パフォーマンステストなど | ○ | ○ | ○ |  |

６　パフォーマンステストについて

　(1) テストの内容

＊＊＊

　(2) 採点の基準［例］

　「思考・判断・表現」については、＊つの条件をすべて満たしていれば「ｂ」（おおむね満足できる）とする。［条件が３つの場合］

|  |
| --- |
| 条件１：＊＊＊を示している。  条件２：なぜ＊＊＊なのか理由を述べている。  条件３：＊＊＊を具体的に述べている。 |

観点別の採点基準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ａ | ・語彙や表現が適切に使用されている。  ・聞き手に分かりやすい音声等で話している。［「話すこと」の場合］ | ＊つの条件を満たしたうえで、＊＊＊している。 | ＊つの条件を満たしたうえで、＊＊＊しようとしている。  ［思判表と同じ内容になる］ |
| ｂ | ・多少［数値化、具体化するとよい］の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使っている。  ・理解に支障のない程度の音声等で話している。［「話すこと」の場合］ | ＊つの条件を満たしている。  「ｂ」は、すべての生徒が達成することが望ましい内容とする。 | ＊つの条件を満たそうとしている。 |
| ｃ | 「ｂ」を満たしていない。 | 「ｂ」を満たしていない。 | 「ｂ」を満たしていない。 |

※「ｂ」（おおむね満足できる）を基準とし、「ａ」（十分に満足できる）、「ｃ」（努力を要する）を設定する。

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」p.52以降参照。

事例の領域名に注意。

１～４で１ページ、５で１ページ、６で１ページを目安に、計３ページ以内に収めてください。